



The Y's Men's Club of Sendai

仙台ワイズメンズクラブ 2017 年 3 月報

- 国際会長主題 「私たちの未来は、今日から始まる」
- アジア地域会長主題 「ワイズ運動を尊重しよう」
- 東日本区理事主題 「明日に向かって、今日動こう」
- 北東部長主題 「明日のために、いま土台を築こう」
- クラブ会長主題 「笑顔で今活動を」～出愛・ふれ愛・学び愛～

会 長 吉田一恵
 副 会 長 佐々木絹子
 書 記 横倉 純
 会 計 田中京子
 メネット会長 田村成子
 担当主事 鈴木陽子

仙台クラブ事務所 : 〒980-0822 仙台市青葉区立町 9 番 7 号 仙台YMCA内
 仙台クラブ Facebook: <https://www.facebook.com/sendaiys/>

<今月の聖句>

あなた方を襲った試練で、人間として耐えられないようなものはなかったはず。神は真実な方です。あなたが耐えられないような試練に遭わせることはなさらず、試練と共に、それに耐えられるよう、逃れる道をも備えてくださいます。

コリントの信徒への手紙一 第10章13節

3月の例会

日 時 : 3月21日(火)

19:00~21:00

会 場 : 仙台YMCA立町会館

3階サービス実習室

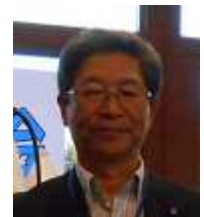
内 容 : 「EMC(会員増強)について
意見交換」

司 会 : 工藤正剛

食前感謝 : 星 廣夫

巻頭言「BFと気配り」

横倉 純



3月はBFの強調月間でもあります。国際交流のBF事業は現金拠出にシフトされて来ておりますが、仙台クラブは伝統的に使用済み切手収集を継続しており、東日本区大会では毎年、優秀賞1位の表彰を受けております。

それを実現している大きな理由があります。それは先月巻頭言「生前贈与」を担当された工藤ワイズメンの大きな働きによるものです。使用済み切手収集には会員のみならず、仙台市内外の個人、企業、団体の皆様のご協力を頂いているからです。その協力がなぜ続いているかといいますと、量の多少に限らず、全ての協力者にその都度ハガキによる、お礼状を工藤ワイズが心を籠め送っているからです。仙台YMCA宛に送って来られる方、工藤ワイズ宅に直接送られる方、また持参される方もあります。その礼状により心が通い合い、リピーターとなり、切手が送られて来ます。礼状という「気配り」のツールによる繋がりの大切さを強く思うものです。これはBFのみならず、他の事業展開においても心がけたいものです。そしてその使用済み切手整理を工藤メン・メネットを中心に会員皆様のご協力により行われ、今年度も送られました。果たして1位を守れるでしょうか。

2月例会報告

在籍者	18名
出席者	10名
メイキャップ	0名
ゲスト・ビジター	1名
メネット・コメント	1名
出席率	55.6%
ニコニコ	12,000円

2月例会報告

日 時：2017年2月21日（火）19：00～21：00

会 場：仙台YMCA 3階 サービス実習室

出席者：阿部・今澤・小幡・工藤・鈴木・佐々木・高松・田中・田村メネ・中川・横倉・吉田

ゲスト：後藤昌子さん

内 容：震災から6年目にして傷ついた仙台YMCA会館の補修工事がやっと始まり、いつもの会議室から3階のサービス実習室に会場を移して開かれた。

司会は中川メン、今月の聖句、ワイズソング、ワイズの信条と続き、会長挨拶では「皆さん足元の悪い中ご出席いただきありがとうございます。今日のゲストはネパールで活動をされ、以前例会でスピーチをして頂きました桜井ひろこさんからのご紹介の方で、長年保育のお仕事に携わって来られました後藤昌子さんです。どうぞよろしくお願い致します。」と述べられた。

佐々木ウィメンの食前感謝を受け、TOF月により軽食を戴いた。

ゲストスピーカーの後藤さんの開口一番は「私は昭和11年生まれの80歳になります、私より年上の方おられますか？」であった。よほど若さに自信があるんだろうな～と、その通りの元気が伝わってきました。出身は陸前高田市。仙台鉄道に入るも男性ばかりが優遇される

るのが嫌で退社し、日本食堂に入り車内販売業も経験、また、安保闘争のデモにも参加していた。その後保育の仕事に携わり、20年間無認可の保育園で働き、その間42名を一人で見ていたこともあった。後に認可の民間保育園にも勤めたが、あれをやってはダメ、これをやってはダメとの縛りが多く窮屈でもあった。私自身は成り行き任せで来たが、教え子が皆立派な社会人になっていることを誇りに思っている。保育の経験から言えることは、幼児の望んでいることをちょっとつまんでやること、自分が認められることが一番であり、伸びます。また、保育士さんは自分の味を持つことが大事であり、その方には敵わないです。と語られた。



連絡報告では「仙台YMCAボランティア感謝会」のこと、「西日本区阪和部東北支援ツアー」のこと「東日本大震災被災者追悼礼拝」のことなどが周知された。

誕生祝い、ニコニコと続き、横倉書記より後藤さんへの感謝が述べられ、吉田会長の閉会点鐘で閉じられた。ニコニコは 12,000 円。

3月の強調月間「BF、メネット」

「BF」(Brotherhood Fund) は全世界のワイズメンの参加によって、使用済み切手を集め整理して、切手市場で換金する方法が主力だったが、次第に現金による拠出が増えてきている。BF代表や国際役員が公式の旅行をするために積み立てられる基金です。

BF代表にはフルグラント (Full Grant) とパーシャルグラント (Partial Grant) の2種類があります。フルグラントに応募するには、所属クラブが規定額以上のBF献金をしていなければならない。また、訪問先のTC (Travel Coordinator) が作る日程に従い3週間以上、5週間以内の旅行を全うしなければ為らない。パーシャルグラントは国際大会、地域大会に参加する。旅費の一部が支給されます。

もう一つ、メネットの月です。メンの活動を支援しつつ、独自の国内、国際の奉仕活動を着実に継続している。メネットアワーを開いているクラブもあります。メネット会が有る無しにかかわらず、同じ目的をもつパートナーとして、メンとメネットの協働を考えるとときとしてください。



北東部ユース・リーダーズ・アクト 2017に参加して

吉田 一恵

2017年2月25日、26日の両日、北東部、とちぎYMCA主催で開催されました。25日(土)は宇都宮市立清原体育館を会場にとちぎYMCA杯エンジョイドッチボール大会が開催されましたが、両日参加出来ず、横倉メンと仙台青葉城クラブの加藤会長、加藤メネットの4名で、26日(日)に藤井産業株式会社会場の「福島の子どもたちと一緒に笑顔!」をテーマとした「みらくるプロジェクト」に参加のみとなりました。ユース21名、一般高校生・大学生18名にワイズを含む58名が参加しました。10:00に阿久津知志運営委員の進行、川口夏菜子運営委員の司会で開会し、とちぎYMCAの鷹箸孝理事長から「YMCAは5,800万人の世界最大の組織で地球支援をおこなっています。子どもから老人介護まで日本で初めてサポート、地域へのサポートにユースのみなさんと共に活動を行っています。」と挨拶があり、長岡正彦北東部長から「昨年までは宮城、岩手を支援してきましたが、今年は福島を応援したいと思って企画いたしました。」と挨拶がありました。午前中は宇都宮大学中村祐司教授による「コミニティーと防災について」地域復興の現状報告、宇都宮大学のUP(宇大生プロジェクト)代表の小原保隆さんから2014年から東日本大震災の復興に携わり、活動を継続中について、また、福島県相馬市で活躍しているLLO(Live Lines Odaka)の4人男子高校生の講演を聴き、午後は5つのグループで「今、わたしたちにできること」等についての話し合いを行いました。



私のグループには盛岡Yリーダーと宮城で開催の時に会った、とちぎYのリーダーと一緒に。グループの方たちからメッセージを頂き、予定どおり16:00に解散になりました。

2016年度仙台YMCA全体研修会に参加して

吉田 一恵



2017年2月11日(土・祝)日本聖公会仙台基督教会で開催されました。参加者数は幼稚園職員等162名、講師、ワイズ関係者等で170名位でした。

9時定刻に小幡忠弘さんの司会で開会前に黙祷して、高橋祐子さんの司会による開会礼拝、菅野健会長の挨拶、讃美歌、聖書朗読、祈禱、仙台YMCAの使命の交読と礼拝が進行しました。小幡忠弘さんによるオリエンテーションがあり、布宮圭子さんの司会で研修報告会がありました。

専門職管理研修会報告では5名の方、ステップⅡ報告1名、日本YMCA大会報告は6名、東日本スタッフ研修会報告5名、一人ひとり全員の爽り多い報告がありました。その後AからOの15グループに別れ、分団討議がありました。私は小幡忠弘さん司会のGグループ8名に所属し、一人ひとり心に残った報告の発表で私を含め3名の方がスタッフ研修報告で話された「早く行きたければ一人で行けばいい、人と行きたければみんなでゆっくり行けばいい」をあげました。

12時30分から加藤雄一さんの司会で始まり、講演I「YMCAのブランディング理解」と題して、

東京YMCA財務部 星野太郎主任主事から今日までYMCAの運動の柱であった「C」と「A」が一般社会からは「宗教団体」および「閉鎖的な組織」と感じられているアンケートの結果がある。それで、YMCAを正しくかつ斬新なメッセージとロゴで社会にアピールする作業の講演がありました。講演後、又15グループに別れ、分団討議があり、質疑応答がありました。これには職員のみでの参加でした。講演Ⅱ「YMCAの進むべき道」と題して、集める人生、散らす人生それぞれの役目がある。YMCAは世界を幸せに出来る。喜びを拡げる。YMCAを支えるワイズがあると日本YMCA同盟の島田茂総主事の講演がありました。

閉会礼拝は、高松成士さんの司会により行われ、閉会となりました。



わたしの好きな言葉 「日々これ新たなり」

岡 久雄

今、この時を最も大切に生きて下さい。そうすれば、過去も輝き、未来も明るくなるのです。決して過去に拘ったり、未来への夢をのみ追ってはなりません。



3月第2例会報告

日時：2017年3月7日（火） 19:00～21:00

会場：仙台YMCA 302号室

出席者：鈴木・田中・田村メネ・中川・横倉・吉田

- ① 3月例会は次期クラブ会長研修会のメインテーマとなったEMC（会員増強）事業について、会員での意見交換を行うこととする。
- ② 仙台YMCA「ボランティア感謝会」 3/10（金）4階ホール 会費 2,000円 中川、吉田出席予定。
- ③ 西日本区阪和部東北支援ツアー 3/10・3/11 3/10の被災地視察には吉田会長同行予定。
- ④ 「東日本大震災被災者追悼礼拝」 3/11（土）4階ホール 19:00-20:00 横倉、吉田参加予定。
- ⑤ BF使用済み切手は今年も工藤さんはじめ皆様のご協力により、7kgが送られた。
- ⑥ 3月東日本区ニュース（理事通信）の内容を確認する。
- ⑦ 次期クラブ会長研修会を受講して横倉メンより報告があり、要請のあった「東山荘100年募金」に仙台クラブから2万円を献金送金することとする。承認。
- ⑧ 6/3（土）・4（日）に川越市で開催される「第20回東日本区大会」に出席を希望される方は、3月26日（日）まで横倉書記へご連絡をお願いします。一括申し込み検討する。
- ⑨ 3月ブリテンの原稿を確認する。巻頭言は星メンに代わり横倉メンが担当する。
- ⑩ 4月（花見）例会について討議する。会員の意見（アイデア）も出していただく。

3～4月の主な予定

日程	内容
3月29日（水）	仙台YMCAスイミングプール リニューアルオープン
4月1日（土）	仙台YMCA入職式